

会 議 録 （ 要 旨 ）

会 議 名	平成22年度 第3回文化財保護審議会
開 催 日 時	22年10月9日(土) 14時00分 ~ 16時00分
開 催 場 所	武蔵村山市立歴史民俗資料館 会議室
出 席 者 及 び 欠 席 者	出席者：蓮沼、内野、清水、城崎、瀬川、田代、多田、檜崎、原田委員 欠席者：國委員
議 題	1 市内文化財総合調査について *指定文化財の経過と今後について *指定対象文化財4点の説明と今後について 2 その他
結 論 (決定した方針、残された問題点、保留事項等記載する。)	議題1について 文化財保護審議会は文化財保護が第一義であるが、内容及び活用等についても検討を加えつつ、高い見識のもとに指定文化財を選定すべく文化財総合調査を進めていく。また、事務局においても、職員を含めて市内文化財に精通した人材の育成に努めてほしい。 指定対象文化財4点については、詳細を今後検討する。 議題2について 第4回会議日程：平成23年1月29日(土) 午後3時～
審 議 経 過 (主な意見等を原則として発言順に記載し、同一内容はひとつにまとめる。)	議題1 ・指定後の文化財の活用を検討することも必要であるが、文化財保護審議会の第一義は文化財保護である。 ・今後、資料館職員に市内文化財に精通した職員がいなくなることは望ましくない。なるべく早い段階から後継の育成をすべきである。 ・指定対象文化財のうち、軽便軌道レールがトンネル内にかなり後まで残っていたのではないか。 ・トンネルを文化財指定するにしても、東京都用地でもあり困難ではないか。 ・軽便鉄道については不明な点も多く、関係市町においても手が出ない。 ・昭和30年代まで第5隧道北側に、枕木が残っていた記憶がある。
会 議 の 公 開 ・ 非 公 開 の 別	<input checked="" type="checkbox"/> 公 開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非 公 開 傍聴者： 0 人 ※一部公開又は非公開とした理由 []
会 議 の 公 開 ・ 非 公 開 の 別	<input checked="" type="checkbox"/> 開 示 <input type="checkbox"/> 一部開示（根拠法令： ） <input type="checkbox"/> 非 開 示（根拠法令： ）
庶 務 担 当	教育部 生涯学習スポーツ課 歴史民俗資料館G（外線：560-6620）